

松崎町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。



広報

まつざき

2016
(平成28年)

10

No.629



「ぶどう狩り」(8/29)

8月下旬から、「八木山健康農園」にて「ぶどう狩り」がオープンしました。今年も家族連れや大学生等が、甘いぶどうを堪能しました。

総務費 8億6,519万円

22.8% (前年度比 16,753万円増)

- ・財政調整基金積立金 …………… 2億9,566万円
- ・まち・ひと・しごと創生事業費 ……3,890万円
- ・路線バス対策事業 ……………2,754万円
- ・花いっぱい運動推進事業 ……………1,920万円
- ・地域おこし協力隊事業費 ……………1,167万円
- ・美しい村推進事業費
(棚田保全活用事業他) ……………1,151万円
- ・地域経済活性化対策費
(住宅リフォーム助成他) ……………991万円
- ・指定統計調査費(国勢調査他) ……………577万円

民生費 9億1,737万円

24.1% (前年度比 8,680万円増)

- ・障害者自立支援給付費 …………… 1億4,865万円
- ・保育園建設事業補助金 …………… 1億2,567万円
- ・後期高齢者医療事業(繰出金他) 1億2,383万円
- ・介護保険事業(繰出金他) …………… 1億2,210万円
- ・国民健康保険事業(繰出金他) ……………9,889万円
- ・児童手当 ……………7,932万円
- ・保育所実施委託事業 ……………6,066万円
- ・重度障害者医療費助成事業 ……………2,000万円
- ・養護老人ホーム入所措置者委託 ……1,965万円
- ・臨時福祉給付金事業費 ……………1,144万円

衛生費 4億2,177万円

11.1% (前年度比 △2,076万円)

- ・じん芥処理事業
(清掃点検業務委託他) …………… 2億643万円
- ・西豆衛生プラント組合負担金 ……………8,214万円
- ・老人健康対策事業
(がん検診事業他) ……………1,457万円
- ・子ども医療費助成事業 ……………1,299万円
- ・予防事業
(インフルエンザ、定期・任意予防接種事業他)
……………989万円

農林水産業費 2億64万円

5.3% (前年度比 2,873万円増)

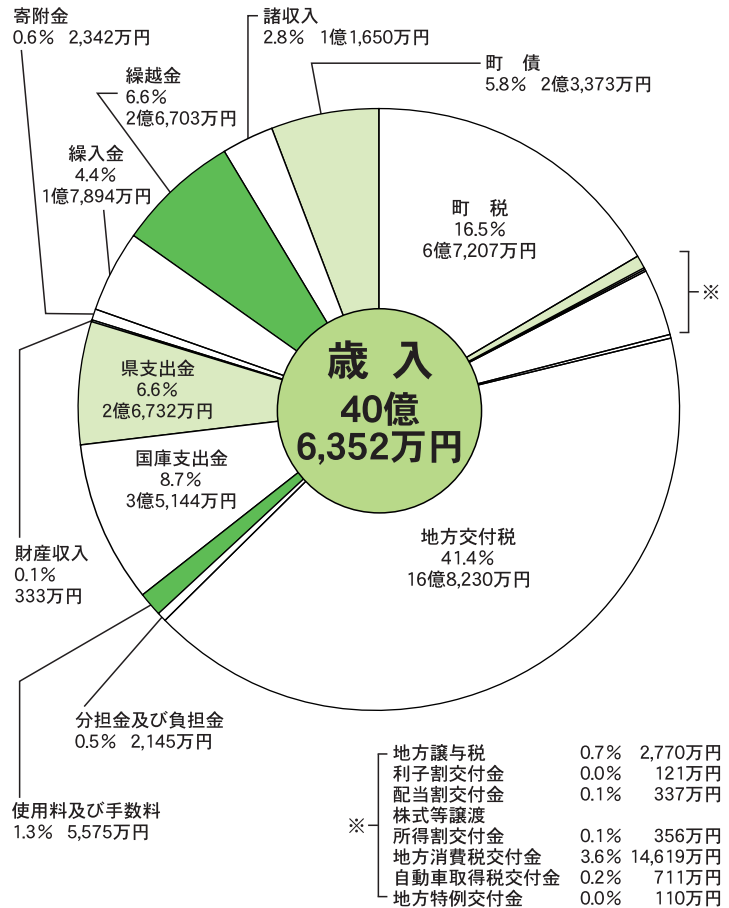
- ・国土調査費(地籍調査) ……………3,327万円
- ・農地費(農業施設整備工事他) ……………1,282万円
- ・漁港管理費
(漁港機能保全計画策定他) ……………1,182万円
- ・農業振興事業
(中山間地域等直接支払交付金他) ……1,092万円

◆ 平成27年度 一般会計 ◆

決算報告

総額38億115万円
このように使いました。

「魅力あるまちづくりの推進」「安心安全なまちづくり」を重点課題とし、地域資源を生かしたまちづくりや防災減災対策等に取り組みました。



◎歳入の状況

歳入決算額は、40億6352万円(前年度比3・2%増)となりました。

地方交付税が前年度比1億725万円増、地方消費税交付金が前年度比5841万円増となった一方で、町税が2970万円減、使用料及び手数料が646万円減となる等、自主財源の確保が困難な状況が続いています。

また、国・県支出金が1億2238万円増となる等、国や県への依存する割合が強まっています。

自主財源比率は32・9%で前年度比3・6%減となりました。町税の収納率の向上やふるさと納税の強化等、自主財源の確保が課題となっています。

◎歳出の状況

歳出決算額は、38億115万円(前年度比3・5%増)となりました。

経常経費の内容精査を進め、無駄な経費の削減に努める一方で、魅力あるまちづくりの推進では、地方創生の基となる人口ビジョンおよび地方版総合戦略の策定を行い、移住・

災害復旧費 1億1,654万円

3.1% (前年度比 4,103万円増)

- ・漁港施設災害復旧事業
(雲見漁港他) ……1億1,654万円

教育費 2億6,643万円

7.0% (前年度比 258万円増)

- ・義務教育施設整備費
(松小プール改修工事他) ……3,801万円
- ・生涯学習センター管理費 ……702万円
- ・遠距離児童生徒通学費補助金 ……612万円
- ・国際理解教育振興事業 ……505万円

消防費 3億2,824万円

8.6% (前年度比 4,395万円増)

- ・下田地区消防組合負担金 ……1億4,985万円
- ・災害対策施設整備
(津波避難タワー整備工事他) ……8,161万円
- ・災害対策事業
(災害対策用資機材整備他) ……4,386万円
- ・消防団運営事業 ……3,154万円
- ・消防施設整備事業
(小型ポンプ車整備他) ……1,600万円

土木費 1億3,376万円

3.5% (前年度比 △4,545万円)

- ・橋梁維持事業
(新川橋耐震補強補修工事他) ……3,165万円
- ・道路維持事業(道路維持工事他) ……3,103万円
- ・港湾整備事業 ……766万円
- ・河川維持事業(河川維持工事他) ……457万円
- ・住宅地震対策事業
(木造住宅耐震補強助成事業他) ……330万円

公債費 2億9,523万円

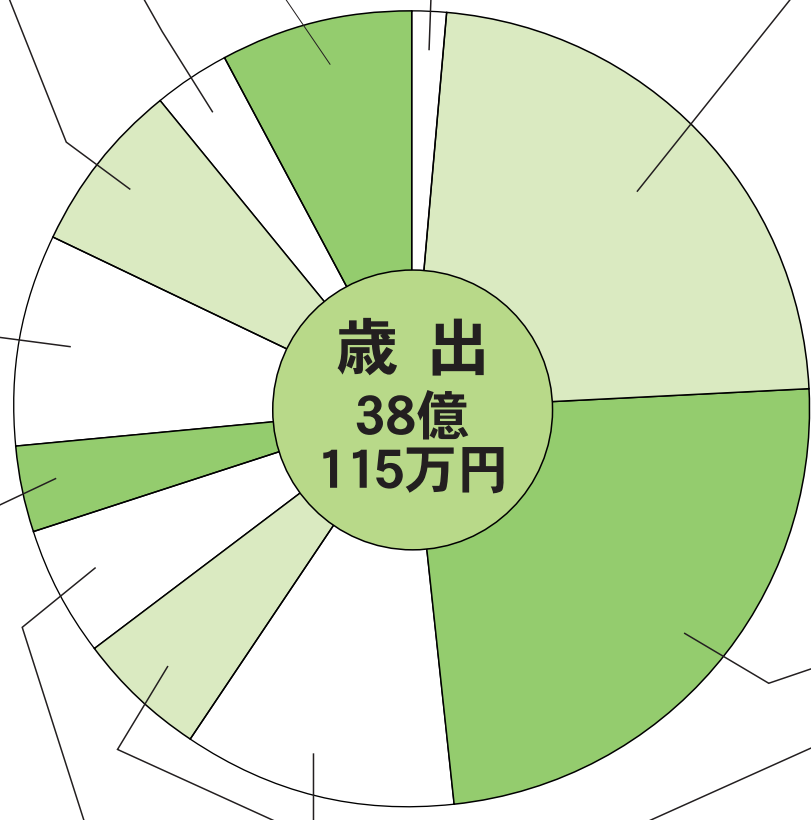
7.8% (前年度比 △1,413万円)

- ・元金 ……2億6,129万円
- ・利子 ……3,393万円

議会費 5,491万円

1.4% (前年度比 △323万円)

- ・議員報酬、手当等



商工費 2億1,070万円

5.3% (前年度比 △1億5,836万円)

- ・観光振興事業(観光協会補助金他) ……4,618万円
- ・商工振興事業(商工会補助金他) ……988万円
- ・鏝絵のまちづくり推進事業 ……853万円
- ・牛原山町民の森整備事業 ……818万円
- ・ふれあい交流推進事業
(グリーンツーリズム推進事業) ……634万円

平成27年度一般会計決算性質別歳出内訳表

性質別	決算額	比率
人件費	6億5,590万円	17.2%
物件費	8億483万円	21.2%
維持補修費	2,629万円	0.7%
扶助費	3億6,687万円	9.6%
補助費等	5億8,689万円	15.4%
公債費	2億9,522万円	7.8%
積立金	3億1,102万円	8.2%
投資及び出資金貸付金	252万円	0.1%
繰出金	2億3,207万円	6.1%
普通建設事業費	4億300万円	10.6%
災害復旧費	1億1,654万円	3.1%
合計	38億1,115万円	100.0%

交流拠点施設の整備も行いました。また、商工会、観光協会と連携し、消費喚起・観光誘客事業としてプレミアム商品券やクーポン券を発行しました。さらに伊豆の長八生誕200年祭を実施し、地域の活性化を図りました。

地震・津波対策では、ソフト面では津波避難計画を策定し、ハード面では津波避難タワーの整備やN・T・T津波避難ビルの階段整備の助成を行う等、地域の皆様の安全確保を図りました。

さらに子育て支援として聖和保育園の建設事業補助金や松崎幼稚園建設事業実施設計等を行いました。

一方で、将来的な大型事業等に備え、財政調整基金に2億9,566万円を積み立てる等、計画的な財政運営に留意した予算執行を行いました。

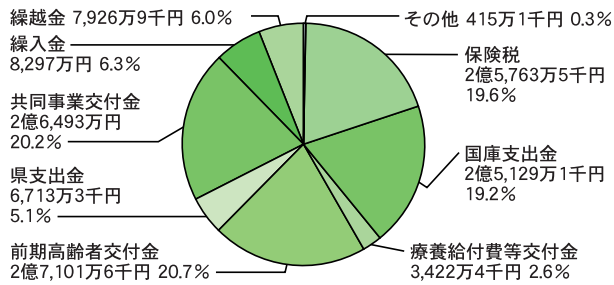
町税等自主財源の乏しい厳しい財政状況ですが、経常経費の節減に努め、効果の期待できる事業に予算を重点配分できるよう、引き続き取り組んでまいります。

【問合せ】
総務課 (42) 3963

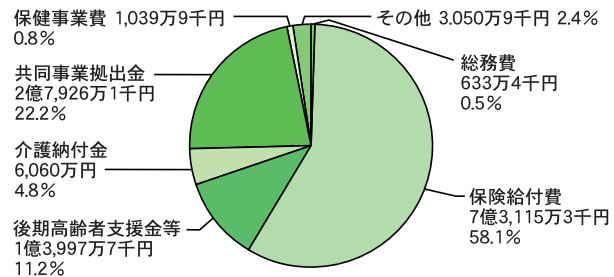
特別会計決算の概要

【特別会計決算の状況】

特別会計	被保険者数	歳入	歳出	差引額
国民健康保険	2,678人	13億1,261万9千円	12億5,823万3千円	5,438万6千円
後期高齢者医療	1,643人	1億246万4千円	1億63万円	183万4千円
介護保険	3,039人	8億2,641万1千円	8億582万5千円	2,058万6千円



1人当たりの保険税 96,204円



1人当たりの医療費 328,647円

国民健康保険特別会計

平成27年度の国民健康保険加入者（年平均）は、2678人で、総人口に占める割合は37.8%となりました。世帯数では総世帯の51.8%となる1562世帯が加入しています。

特別会計の歳入総額は13億1261万9000円（前年度比100.3%）、歳出総額は12億5823万3000円（前年度比102.4%）、2931万3000円（増）となり、歳入歳出差引額は、5438万6000円となりました。歳入では、国民健康保険税が2億5763万5000円（前年度比97.0%、799万6000円減）となりました。一方歳出では、保険給付費（医療費のうち町が7割等負

後期高齢者医療特別会計

平成27年度の被保険者（年平均）は、1643人で総人口に占める割合は、23.2%となりました。特別会計の歳入総額は1億246万4000円（前年度比97.1%、309万3000円の減）、歳出総額は1億63万円（前年度比96.0%、424万2000円の減）となり、歳入歳出差引額は183万4000円となりました。

歳入では、後期高齢者医療保険料が6982万8000円

介護保険特別会計

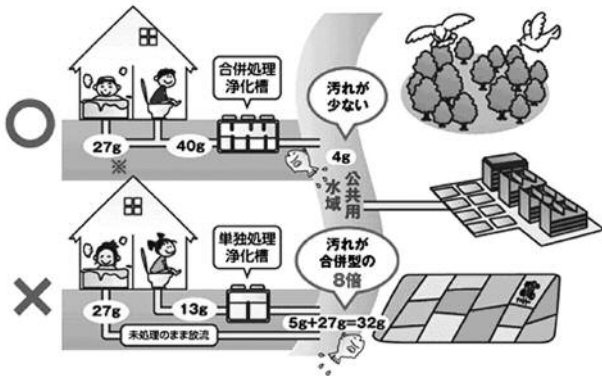
平成28年3月現在、65歳以上の被保険者数は3039人、その内、要介護・要支援認定者数は545人で、17.9%となりました。特別会計の歳入総額は8億2641万1000円（前年度比99.5%、433万2000円の減）、歳出総額は8億582万5000円（前年度比101.3%、1001万3000円の増）となり、歳入歳出差引額は2058万6000円となりました。

この内、介護給付費は7億5436万2000円で、前年度比100.06%、43万7000円の増額となりました。今後も、介護予防事業の充実により、要介護認定者の減少を目指します。

【問合せ】

健康福祉課（42）3966

10月1日は浄化槽の日です。単独処理浄化槽から合併処理浄化槽へ切換えましょう



※800の量：水中の有機物が微生物の働きで分解されるときに消費される酸素の量で、有機性の汚れが少なければこの数値が小さくなります。

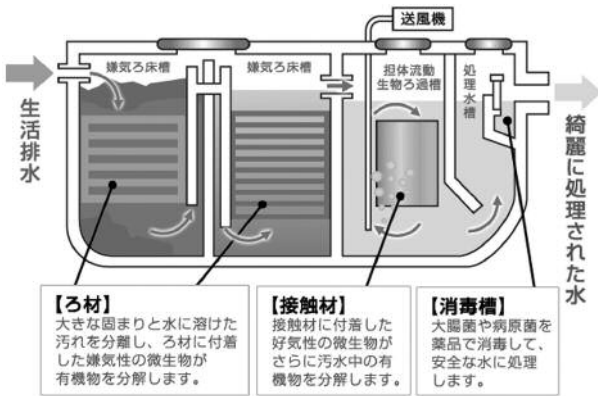
単独処理浄化槽から合併処理浄化槽に切換えると環境負荷が1/8になります。

町内には、単独処理浄化槽がおよそ1,600基近く残っています。単独処理浄化槽は、トイレの汚水は浄化槽で処理して排水しますが、台所やお風呂の排水等は処理せず、水路や側溝に放流している形です。

一方、合併処理浄化槽はトイレ、台所、お風呂等家庭から出る生活排水を全部処理するため、単独処理浄化槽と比べて環境への影響が1/8になります。合併処理浄化槽は約570基整備されていますが、町では平成35年度末までに約800基整備するため、設置に関して補助制度を設けています。住宅の新築に伴う新設、単独処理から合併処理への転換が補助対象となりますので、積極的に活用してください。

<合併処理浄化槽設置整備事業補助金交付額>

人槽(大きさ)	新 設	転 換
5 人槽	332,000円	414,000円
7 人槽	414,000円	516,000円
10人槽	548,000円	684,000円



【ろ材】 大きな固まりと水に溶けた汚れを分離し、ろ材に付着した嫌気性の微生物が有機物を分解します。
【接触材】 接触材に付着した好気性の微生物がさらに汚水中の有機物を分解します。
【消毒槽】 大腸菌や病原菌を薬品で消毒して、安全な水に処理します。

合併処理浄化槽のしくみ

※10人槽より大きい場合は、事前に生活環境課までお問い合わせください。

現在浄化槽を使用している皆様へ

浄化槽を使用している方は、次の3つすべてを行うことが浄化槽法で義務付けられていますので、必ず行ってください。

法定検査



清 掃



保守点検



登録業者

浄化槽保有者の3つの義務

※保守点検や清掃の記録書類が必要となりますので3年間は保管しておいてください。

【問合せ】生活環境課 環境保全係 (42)3969

1. 清掃の実施（年1回以上）

清掃とは、浄化槽内に溜まった汚泥や有機物を分解した微生物の死骸等が一定量を超えると浄化槽の機能が低下するため、それらを引抜き、浄化槽内の洗浄を行います。浄化槽の機能が低下すると、排出物等がそのまま外部に流れてしまうこともありますので、必ず年1回以上清掃を行ってください。

2. 保守点検の実施（年3～4回以上）

保守点検とは、浄化槽の運転状況の点検や各設備の調整、修理ほか消毒薬の補充等、浄化槽を正常に機能させるための作業をいいます。

3. 法定検査の受検

法定検査とは、浄化槽の設置工事やその後の保守点検や清掃が適正に行われ、綺麗な水が放流されているかを外観検査や水質検査、書類検査（保守点検や清掃の記録）により検査をします。静岡県では、指定検査機関として（一財）静岡県生活科学検査センター（TEL: 054-621-5863）のみが指定されています。

第39回花壇コンクール・第24回街角の花コンクール

花

花壇コンクールは、花いっぱい運動の推進や住民の手によるふるさとづくりの推進、花壇づくりを通しての地域づくり、地域コミュニティの活性化を目的に行われており、今年で39回目となります。

審査は8月12日に行われ、町長をはじめ、松崎町花の会長、さんさん松崎会長、県伊豆農業研究センター研究員、有識者の5人で審査を行いました。



審査の様子

審査員は、応募のあった19団体の花壇を1日かけて回り、取組度、努力度、創意工夫度、技術度の4項目を採点しました。参加した団体からは「今年の夏は、例年に比べ雨が少なく、花壇管理が難しかった」との様子を聞きました。

表彰は9月25日に開催された「第33回長八フェスティバル」で行われた他、上位の団体は、県主催の「ふじのくに花の都しずおか・花緑コンクール」に推薦されました。

◆審査結果◆

【最優秀賞】

花の親睦会（小杉原）

【優秀賞】

浅間会（雲見）

花の有志会（池代）

【努力賞】

東友会（東区）

常盤会（伏倉）

松尾区

松崎町花の会



最優秀賞 花の親睦会（小杉原）



優秀賞 花の有志会（池代）



優秀賞 浅間会（雲見）

街

街角の花コンクールは、団体だけでなく、個人や事業所の花壇、プラントー等についても評価する機会を設け、花いっぱい運動のさらなる推進を図ろうというものです。

◆審査結果◆

【最優秀賞】

高橋繁子さん（岩地）

【優秀賞】

小笠原いね子さん（伏倉）

【努力賞】

齋藤センさん（東区）

望月 卓さん（東区）



最優秀賞 高橋繁子さん（岩地）

【問合せ】

企画観光課（42） 3964

交通安全ポスターコンクール

小・中学生の夏休みの課題として募集した交通安全ポスターコンクールの審査会が9月2日（金）、環境センター文化ホールで行われました。このコンクールは、交通安全ポスターを作製することにより、家族ぐるみで交通安全意識を高めてもらうことを目的に開催されています。

今回は、274点の応募があり、町長、交通安全対策委員、小・中学校の美術担当教諭等により審査が行われました。

各部門の入賞者は次のとおりです。

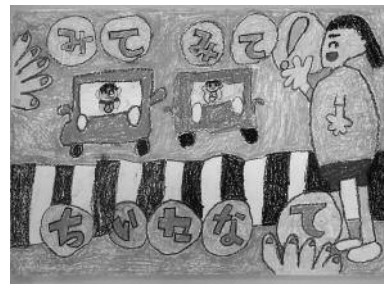


審査の様子

【問合せ】
総務課（42） 3963

- | | | | |
|--|--|--|---|
| <p>小学校低学年（一・二年）の部</p> <p>最優秀賞 藤井りあ（二年）</p> <p>優秀賞 八木倫花（二年）
田口季夜（二年）</p> <p>佳作 大胡田優羽（二年）
山本 航（二年）
齋藤瑛二郎（二年）</p> | <p>小学校中学年（三・四年）の部</p> <p>最優秀賞 齋藤駿太郎（四年）</p> <p>優秀賞 鈴木敬明（四年）
鈴木虎太郎（四年）
井出聖人（三年）
青木彩奈（三年）
渡辺十和（三年）</p> | <p>小学校高学年（五・六年）の部</p> <p>最優秀賞 矢野優歌（六年）</p> <p>優秀賞 飯野陽心（六年）
山本悠月（五年）
山田吏希（六年）
山本奈央（五年）
ワントシヨリ（五年）</p> | <p>中学校の部</p> <p>最優秀賞 菊地美瑚（二年）</p> <p>優秀賞 菊地涼太（二年）
佐野杏奈（二年）
石田紗為（二年）
奥山蘭奈（二年）
土田倫生佳（二年）</p> <p>（敬称略）</p> |
|--|--|--|---|

小学校低学年の部



最優秀賞
1年
藤井りあさん
（西区）

【評】 標語がかわいらしく、横断歩道を渡る感じがよく表現されている。

小学校中学年の部



最優秀賞
4年
齋藤駿太郎さん
（伏倉）

【評】 構図の取り方がうまく、動きや表情がよく伝わってくる作品。

小学校高学年の部



最優秀賞
6年
矢野優歌さん
（櫻田）

【評】 暗さの表現が効果的で、文字の見せ方も工夫されている。

中学校の部



最優秀賞
1年
菊地美瑚さん
（東区）

【評】 文字の大きさや色のバランスがよく、横断歩道の表現がうまい。

9月1日(木) 総合防災訓練



9月1日(木)の「防災の日」に、大規模地震や津波の発生を想定した訓練が町内各地で行われ、35地区全ての自主防災会、小学校、幼稚園、関係機関等で2887人が参加しました。



屋上まで避難する小学生

各自主防災会では、津波避難訓練、消火器・消火栓等による初期消火訓練、避難者名簿作成や炊出し等の自主防本部設置・運営訓練、防災資機材の点検等、地域の実情に応じた訓練が行われました。



峰区の簡易タンカ作成訓練



伏倉区の消火器訓練

訓練の中には、若い人の力が必要であると、例年地域の訓練に参加している中学生や、今年から生徒家庭学習日とし

て地域の訓練に参加することとした松崎高校の生徒へ協力を依頼し、生徒も積極的に活動していました。



江奈2区の訓練で避難者受付を行う中高生

町の本部会議では、災害図上訓練(DIG)を行い、避難所の状況や町職員の行動等を検証しました。

熊本地震でも避難所については、さまざまな課題が出ていましたが、屋内退避を考えた時に、現在町で指定している避難所では入りきれず、各地区の公民館も避難所となると想定されました。

また、職員の行動は、情報収集、国・県・関係機関との調整、応援部隊の受入対応等、多くの業務があり、指定避難所も含めた避難所の運営は、自主防災会を中心とした地域

の皆様にお願いしなければならぬ状況が明らかになりました。

最近、訓練内容がマンネリ化しているという声も聞かれますが、災害が発生した時にはパニックとなり、冷静な判断や行動が取れないと言われるています。初期行動となる避難行動は、考えなくても体が自然に動くように訓練を重ねることが大事です。

家庭では備蓄食糧や非常持出品の確認を、地域では自分の行動(自助)や地域でとるべき行動(共助)を考える習慣をつけて、災害に強いまちづくりを目指しましょう。



野田区の訓練で行われた避難所運営ゲーム(HUG)

【問合せ】
総務課(42) 3963

8020コンクール 入賞

静岡県歯科医師会が実施した平成28年度嘸むカムケア8020コンクールにおいて、宮内区の中村さんが入賞しました。



中村 定治さん(宮内)

8020運動とは、80歳になっても20本歯を保つことを目指す運動です。中村さんは、歯のことも健康管理の一部として歯磨き等に取り組んでいるとのことでした。

健康づくりは「食べる」ことから始まり、食べることは「口」から始まります。8020目指して健康管理に努めましょう。

【問合せ】
健康福祉課(42) 3966

財政健全化判断比率の公表

財政健全化判断比率とは、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、自治体の財政破たんを未然に防ぐことを目的として、自治体の会計である一般会計、特別会計（企業会計を含む）等の自治体の財政状況を明らかにするため、毎年度の決算時に算定する「健全化判断比率」とおよび「資金不足比率」のことをいいます。

○「健全化判断比率」とは、次の4つの比率をいいます。

- ・ 実質赤字比率
- ・ 連結実質赤字比率
- ・ 実質公債費比率
- ・ 将来負担比率

健全化判断比率（公営企業は「資金不足比率」では、財政の危険信号を示す『早期健全化基準』（公営企業は「経営健全化基準」と財政破たん状態（会社でいう「倒産」）を示す『財政再生基準』があり、比率が基準以上になると、国や県の手助けや管理の下、財

政再生に取り組まなければなりません。

（財政健全化判断比率）

健全化指標	松崎町の比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	- (-)	15.0%	20.0%
連結実質赤字比率	- (-)	20.0%	40.0%
実質公債費比率	3.1% (4.5%)	25.0%	35.0%
将来負担比率	- (-)	350.0%	なし

※実質赤字比率、連結実質赤字比率の「-」は黒字の意味。
 ※将来負担比率の「-」は、数値がマイナスで健全性が保たれていることを示します。
 ※（ ）内は前年の比率。

（公営企業に係る資金不足比率）

特別会計名	松崎町の比率	経営健全化基準	財政再生基準
水道事業会計	- (-)	20.0%	なし
温泉事業会計	- (-)		
伊豆まつざき荘計	- (-)		
岩地集落排水事業計	- (-)		
石部集落排水事業計	- (-)		
雲見集落排水事業計	- (-)		

※「-」は黒字の意味で、（ ）内は前年の比率

○町の財政健全化判断比率は？
 平成27年度決算による算定では、全ての判断比率が財政健全化法での基準を下回っており、平成26年度決算に引き続いて財政の健全性を確保しております。

しかし、町の収入のうち町税等自主財源の占める割合は3割台で、県内でも最低水準となっております。自治体の財政状況は、さまざまな要因により比較・分析する必要がありますので、今後、この法律を含めたあらゆる方法・分析により、健全財政の推進に努めます。

【問合せ】
 総務課（42）3963

伊豆縦貫自動車道（天城湯ヶ島～河津）の課題と道路整備に関するご意見をお聴かせください

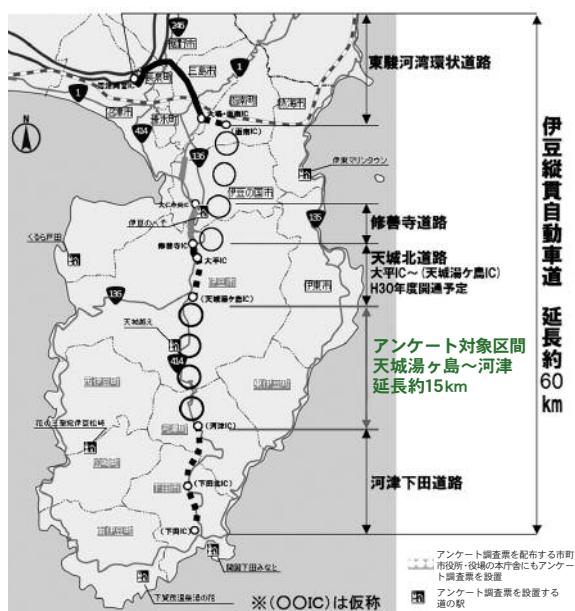
アンケートを実施

伊豆縦貫自動車道（天城湯ヶ島～河津）の計画にあたり、国土交通省沼津河川国道事務所が、地域の皆様からのご意見をお聴きするため、アンケートを実施しております。

各世帯にアンケート調査票が郵送されますので、皆様の日頃感じている対象区間の課題や求められる道路の役割等についてのアンケートへご協力をお願いします。

【回答方法】

- ① 郵送書類に同封されている「郵便はがき」に回答を記入し、投函してください。
- ② 役場および伊豆半島内の7つの「道の駅」（花の三聖苑伊豆松崎）等に「伊豆縦貫自動車道の計画に関する第1回アンケート」のコピーを設けていますので、そちらでも回答できます。
- ③ 下記HPからもアンケートに回答できます。
http://www.chr.mlit.go.jp/nunazu/road/route414/road414_questionary.html



【問合せ】

国土交通省
 沼津河川国道事務所 調査第二課
 電話番号：055-934-2010（直通）

凡例	
閉鎖河	閉鎖河
道路	事業中
道路	調査中
道路	国道
道路	高速道路
道路	有料道路

My Town Topics ～まちのできごと～



旧依田邸でのワークショップ

8月20日、旧依田邸にて、「なまこ壁の建造物」の保存活用等についての意見交換会が行われました。今後は、10月と12月に開催する予定です。



転ばぬ先のからだづくり教室

9月9日、静岡県立大学看護学部の学生による「転倒予防教室」が、峰公民館で行われました。参加者は、転倒予防のための講話を聞いた後、運動を体験しました。



第17回伊豆半島太鼓フェスティバル

9月10日、松崎海岸にて、「第17回伊豆半島太鼓フェスティバル」が開催されました。今年も天候に恵まれ、4団体の素晴らしい演奏が披露されました。



伊豆松崎ファンSUPプレイイベント2016

9月11日、地域おこし協力隊による「スタンドアップパドルボード」を使ったイベントが開催されました。チームレースでは、3人1組で協力し合い、タイムを競いました。

今年で17回目となる太鼓フェスティバルは、町民の有志の皆様が「町を活性化させる何かをしたい」という強い思いから、松崎海岸の夕日に染まる景観を舞台に勇壮な太鼓の魅力を感じていただくことを目的に開催されています。1年で最も美しい時期の夕日を舞台に開催したいとの強い意向から毎年9月に開催していますが、天候が不安定なため、心労が絶えないと伺っています。

町長室からこんにちは ⑧2

今年最高の舞台での開催となりましたが、翌

今年、松崎町では、「日本でも美しい村」連合のフェスティバルが開催され、全国各地からたくさんの方が訪れます。こうした皆様に松崎ならではの魅力を伝えるイベントにしたいと考えていますので、ご協力をお願いします。

松崎町長
齋藤 文彦

第17回 伊豆半島太鼓フェスティバル

♪舞台を支える人たち♪

9月10日（土）、松崎海岸にて、伊豆半島太鼓フェスティバルが開催され、町内外から2000人を超える来場者にお越しいただき、大盛会のうちに終了することができました。

今年で17回目となる太鼓フェスティバルは、町民の有志の皆様が「町を活性化させる何かをしたい」という強い思いから、松崎海岸の夕日に染まる景観を舞台に勇壮な太鼓の魅力を

感じていただくことを目的に開催されています。1年で最も美しい時期の夕日を舞台に開催したいとの強い意向から毎年9月に開催していますが、天候が不安定なため、心労が絶えないと伺っています。

日の午前を中心に雨となりました。この雨の中、舞台の片付けをする実行委員の皆様、ボランティアの皆様を拝見し、深く感謝するとともに、町の力強さを感じました。こうした実行委員会をはじめとした関係者の皆様のご尽力もあり、この伊豆半島太鼓フェスティバルは、松崎を代表するイベントの一つになったと思います。

キラリ、輝き人 No.22



「やってみる」精神を花から野菜、そして地域へ――

河浦 輝雄さん（南郷）

河浦さんは、船田区に作ったビニールハウスを中心に、花卉を生産して「河浦花園」を営業しています。昭和43年から、時代や季節に応じて「カーネーション」、「カスミソウ」、「トルコキキョウ」、「デルフィニウム」等を育ててきました。著名人

Profile

かわうら てるお さん

東京で修業し伊豆市での花卉の栽培を経て、昭和43年から松崎町で「河浦花園」を営業しています。「やってみる（試す）ことが大切」との信念のもとに、難しい花の栽培や野菜の生産に取り組んでいます。



▶きゅうりを収穫する河浦さん

の結婚式に花を提供したり、品種改良により新しい花の先駆者となっていて、今も貴重な生産者として販売しています。

野菜の栽培は、家庭菜園のみだったという河浦さんでしたが、今年に入り「蔵ら」を営む青森千枝美さんから25年ぶりに再会したこと

がきっかけで、野菜の販売を再開したそうです。河浦さんは、「尊敬する青森さんが、『松崎町を食文化の町にしたい』と話すのを聞いて付いていこうと思いい、野菜の提供を始めました」と話してくれました。

河浦さんの野菜は、花の技術を生かした糖度の高い味が特徴で、「とうもろこしやパイヤ等、希少価値の高い野菜を選別して続けていきたいです」と話してくれました。

パイヤを作り始めたのは「夢でみた」ことがきっかけになっていて、「子どもたちに見慣れないパイヤを間近で見せて夢を与えたい」と、近所の子どもたちを招待して、パイヤ狩りを行ったそうです。「パイヤは、実も葉も使えるし肌にも良いので、松崎の特産になるように広めたいです」と話してくれました。今月、開催される「日本で最も美しい村」連合フェスティバルでは、河浦さんの美味しい野菜がお客様に提供される予定です。

地域交流通信

松本市安曇地区から

第1回

「山の日」記念全国大会

「山の日」の制定を記念し、山に親しみ山の恩恵に感謝することを目的に、第1回「山の日」記念全国大会が8月10日、11日に上高地および松本市街地で開催されました。大会の記念式典には皇太子殿下同妃殿下ならびに愛子内親王殿下のご臨席を賜りました。大会は、松本城でのオープニングセレモニーを皮切りに、「山の日」制定記念国際フォーラム、歓迎レセプション、記念式典、祝祭式典および信州四方山祭りが開催され、2日間で延べ1万7300人の皆さんと山の日を祝いました。

記念式典は、約4000人の招待者をお迎えして、上高地バターミナル特設会場にて開催されました。

その中で、安曇・奈川地区の小中学生6人が、「山は宝物。健やかで豊かな暮らしの源である山を未来へつないでいきます」と宣言をしました。記念式典終了後には、まつも市民芸術館において、祝祭式典が開催されました。山をテーマとしたバレエや合唱が披露され、約800人の観客が山への想いを深めました。

また、「山の日」記念全国大会の理念を引き継ぐため、菅谷昭松本市長から次期開催地の栃木県（那須町）へ「山の日帽」が手渡されました。



▲記念式典での皇太子殿下



▲安曇・奈川地区の子供たちの宣言



▶山の日帽

ストロップ! 悪質商法被害 あなたも賢い消費者に

「その電話・訪問は勧誘ですか?」

日々、さまざまな消費者トラブルや法律の改正等が報道で取り上げられています。こうした状況に乗じて、実際は商品の勧誘のための、「最近、マスクミでも報道されてご存じかと思いますが、●●●●●●が義務化されました」、「順次この地区でもみなさん契約しています」等と、勧誘であることを隠して電話をしたり突然訪問をしてくるケースがあります。

もちろん、相手方に対して勧誘のために来たのか否かを確認し、不必要であれば断るという対応が可能であればそのような対策もありますが、そのような対応は現実には難

しいこともあるでしょう。その場合は、すぐに契約等はせず、相手方の名前や言われたことをメモして、市役所や消費生活センター等に相談をするようにしてください。

【問合せ】 企画観光課 (42) 3964



町の人口と世帯

(平成28年8月31日現在)
()内は前月比

総人口	7,038人	(-15人)
男	3,339人	(-7人)
女	3,699人	(-8人)
世帯数	3,019戸	(-4戸)
転入	13人	転出 18人
出生	2人	死亡 12人

(8月届出分) 戸籍だより



おめでとうございます(出生)

地区	名前	性別	保護者
峰輪	実 来	女	依田光貴
東区	心 瑚	女	越水貴也

おくやみ申し上げます(死亡)

地区	氏名	年齢	届出人
大澤	稲井菊江	97	依田秀子
峰輪	大石久恵	83	浩
大澤	山本一久	67	寿彦
松尾	鈴木あさ子	94	豊樹
櫻田	佐藤悦子	78	茂
江奈3	石田常吉	95	益実
西区	鈴木定男	83	とし枝
山口	佐藤勉	90	さつき
江奈2	稲葉定美	85	眞二
江奈2	山本芳美	91	満子

※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。

町の交通事故

平成28年8月発生分

()内は前年同月比

人身事故	1件	(-2)
物損事故	27件	(+1)
死者	0人	(±0)
傷者	1人	(-2)

朝なきな幼稚園バスの通りすぐ
ひよこのごとき黄色の帽子
杉山安紀子

矢車草を両手にかかへるほど摘めば
風にのりくる啄木のうた
岡村芳子

仁科川の河口に鴨の姿ありて
羽はばくさまの遠目に見ゆる
土屋君子

越後へと嫁ぎし姪の晴れ姿
ましろきドレスに幸せを祈る
細田光代

松崎高校 オープンスクール案内

【日時】 10月29日(土)

午前8時50分午後2時30分(予定)

【内容】 学校からの説明、授業見学、部活動見学(※試合等により)

当日不在の部活動があります。

【問合せ】 松崎高校(42-0131)



広報まつねぎ

二〇一六年十月一日発行
通刊 第六二九九号

〒421-3696 静岡県賀茂郡松崎町宮内三〇一ノ一
☎〇五〇四二一三九六四 〇五〇四二一三二八三

発行 静岡県松崎町
印刷 (株)山本印刷

編集 企画観光課